第３７回日本高齢者大会ｉｎあいち と 第３３回ゆたかな高齢期をめざす東京のつどいを成功させる東京実行委員会第3回会議

2024年8月8(木)14:00～16:30　東京労働会館

１　本日の内容　座長選出

- 11/22～23 の第 37 回日本高齢者大会の概要と参加の取り組みについて報告提案
- 各地域、団体をお互いに知り合う交流と、高齢者大会参加の取り組みの交流
- 2025 年 2 月 26 日の東京のつどいの企画提案　企画について意見交換

２　第 37 回日本高齢者大会 in あいちの取り組み

１）第 37 回日本高齢者大会 In あいち　ねらい、内容、報告

- 第 37 回日本高齢者大会実施要項（ｐ３～５）
- 東京独自ちらし（別紙）
- 講座、分科会内容（ｐ６～７）
- 第３７回日本高齢者大会 in あいち参加の取り組みのよびかけ（ｐ８）

２）参加の取組提案

- 参加要綱、ツアー内容（ｐ９～１１）　（補足別紙ありｐ１２）

３）Web 衛星会場づくり　個別 Web 参加の提案

- Web 接続・衛星会場づくりのよびかけ（ｐ１３～１４）

４）参加のための財政活動について紹介、呼びかけ

- 普賢の素麺の紹介　36袋ひと箱、10箱以上送料無料、150円/袋→250円
  （素麺については後ほど詳しいお知らせを流します）
- 参加カンパの取組などを積極的に

５）日本高齢者大会と参加の取り組みについて質疑・応答

- 提案内容について

６）団体・地域の交流　各団体の紹介と参加の取組交流、意見交換

- 実行委員会に参加した地域、団体が取り組んでいることなどをそれぞれ自己紹介
- 団体がかかわる高齢者大会の講座、分科会についての紹介やよびかけ
- 第 37 回日本高齢者大会にそれぞれどのように参加するか計画や思いを交流する

３　第 33 回「東京のつどい」の取り組み

１）企画の提案（ｐ１７）

全体会開催日　2025 年 2 月 26 日(水)午後
全体会会場　　立川　たましん RISURU ホール
分科会　　日時、会場未定

２）企画について意見交換

４　そのほか

・　老人医療無料化発祥の地記念碑 40 周年の集い紹介
・　あわてるな 保険証はすぐになくならない速報紹介

５　日程の確認

１）実行委員会日程

第４回　１０月１０日(木)
第５回　１２月１２日(木)
第６回　　２月１３日(木)
第７回　　４月１０日(木)　（総括と次年度結成を兼ねる）

原則として 14:00～16:30 豊島区東部区民事務所

東京実行委員会連絡先（東京高齢期運動連絡会）
Email アドレス　**tokyo.koureiki@gmail.com**
〒170-0005 豊島区南大塚 3-1-12 生方ビル 4 階
TEL 03-5956-8781　FAX 03-5956-8782
大会用ホームページ　**https://x.gd/taikai**

facebook
https://www.facebook.com/profile.php?id=100091773403776

第 37 回日本高齢者大会 in あいち 大会開催要項

2024 年 6 月 1 日
第 37 回日本高齢者大会 in あいち
第2回中央実行委員会

1. 概 要

(1) 日 程　2024年 11 月 22 日(金)13時 00 分 ～ 23 日(土･祝日)12 時30分(予定)

	時間	行事	会場
＜1 日目＞ 11 月 22 日 (金)	12 時（予定）	開場	名古屋国際会議場
	13 時～16 時 30 分 学習講座：前半 13 時～14 時 30 分 後半 15 時～16 時 30 分 分科会：13 時～16 時 30 分 （途中休憩あり）	学習講座・分科会	
	移動分科会 集合場所・時間は移動分科会案内		
	17 時～１９時（予定）	夜の交流会	愛知労働会館
＜2 日目＞ 11 月 23 日 （土・祝日）	９時３０分（予定）	開場	名古屋国際会議場
	10 時 15 分～12 時 30 分（予定）	全体会	

(2) 会 場
〇名古屋国際会議場
〒456-0036 愛知県名古屋市熱田区熱田西町 1 番地 1 号 電話 052-683-7711
FAX052-683-7777

(3) 主 催
○ 第 37 回日本高齢者大会 in あいち 中央実行委員会
〒164-0011 東京都中野区中央 5-48-5-504
TEL /Fax 03-3384-6654 E-mail: nihonkouren@nifty.com
○ 同 あいち実行委員会
〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町9番 7 号労働会館東館 301 愛知社保協気付
TEL 052-889-6921 FAX 052-889-6931 Email:k-taikai@airoren.gr.jp

(4) 規 模 現地参加者数 2 日間の延べ 3000 人(全体会 1500 人、学習･分科会等 1500 人)
オンライン参加者数 2 日間の延べ 800 人(全体会 500 人、学習･分科会 300 人)

すべての都道府県より代表参加も含めて現地参加をめざす

（5） スローガン

◯大会スローガン　まちから村からの連帯で　ひとりぼっちの高齢者をなくそう

◯サブスローガン　世界中の戦争をなくそう！平和な地球と豊かなくらしをとりもどそう！すべての人が手をとり合って、飢えと貧困をなくそう！

（6） 大会の意義･目的

自民党の長期政権により日本が大きな危機を迎えています。岸田首相（自民党総裁）と自民党は脱法行為の裏金の責任を取らず、証人喚問にも応ぜず、法治国家にあるまじき事態です。アベノミクスは日本経済を停滞させ、物価高騰は国民生活を苦しめています。岸田政権はアメリカの言いなりに日米軍事同盟を一層強化し、憲法違反の武器輸出を解禁しました。社会保障制度を解体し、軍事を優先するいまの日本はまさに“新しい戦前”です。コロナ禍の中、高齢者は入院できず自宅療養を強いられ、尊いいのちを失いました。今年元旦の能登半島地震では寒冷な体育館で避難生活を強いられ、地震・津波から助かったいのちを失う事態です。日本は政治も経済も世界から遅れ、人権も後進国、このままでは高齢者も若者も、明日への希望をもてません。高齢期は誰もが迎えます。そして、高齢者の人権が尊重される社会は、若者、現役、すべての人々の人権が保障される社会です。その人権を保障する義務は国にあります。また、憲法は“不断の努力を”国民に求めています。平和と社会保障のたたかいの歴史を担ってきた高齢者の役割はますます大きなものになっています。高齢期運動と高齢者大会は高齢期の願い要求を実現するための車の両輪です。日本高齢者人権宣言の旗をかかげて、愛知大会を成功させ、運動を一層前進させましょう。

①戦後８０年を来年迎える今年、日本を“新しい戦前”にさせない、そして世界から戦争をなくす運動を大きくしていく大会

②年齢による差別を若い世代とも連帯して跳ね返す大会

③全国各地の運動を学び、語り、交流し、根を張った高齢期運動につなげる大会

（7） 企画内容　講座･分科会･移動分科会･夜の交流会などの企画･テーマはリーフレットをご参照ください。

（8） 体　制

①中央実行委員会

実行委員長　　髙橋　淳（日本医療福祉生活協同組合連合会　会長理事）

副実行委員長　日本高齢期運動連絡会代表委員　杉沢　隆宣、田中　光顕、林　泰則、吉岡　尚志

事務局長　　畑中　久明

事務局次長　日本高齢期運動連絡会事務局次長　田中　英男、寺崎　由郎、菅谷　正見、佐藤　長世

（全日本年金者組合より後日補強）

②あいち実行委員会

代表委員　森谷　光夫（愛知社会保障推進協議会議長）

同　　渡辺　義巳（全日本年金者組合愛知県本部委員長）

同　　安原　勝彦（自治労連退職者の会連絡会）

同　　堀井　清一（愛知民主医療機関連合会会長）

同　　萩野　高俊（愛知県保険医協会会長）

同　　西尾　美沙子（愛知県労働組合総連合議長）

同　　佐々木　ゆかり（新日本婦人の会愛知県本部会長）

同　　渡辺　博子（全日本年金者組合愛知県本部女性部長）
同　　樽松　佐一（革新県政の会）
同　　塚本　洋平（福祉保育労執行委員長）
同　　佐々木秀之（北医療生協副理事長）
事務局長　小松　民子（愛知社保協事務局長）
事務局次長　塚本　紀子（愛知県高齢者大会事務局長）
同　　山口　由夫（愛知県高齢者大会事務局次長）
同　　高木真一（全日本年金者組合愛知県本部執行委員）

2．参加費・参加申込
（1） 参加費
〇現地参加費　　1日　2,500円　2日間　5,000円
〇オンライン参加費　1日　1000円　　2日間　2000円
＊全体会はオンライン配信します。学習講座・分科会については後日通知します。
＊移動分科会は参加費が別途必要な場合があります（当日払い）

（2） 参加申込
①参加申し込みは、都道府県・中央団体ごとに、まとめてください
②「参加申込書」（別紙）に記入し、中央実行委員会事務局に Fax でお送りください
・申し込み締め切り　　第 1 次締め切り…9 月 30 日（土）
　　第 2 次締め切り…10 月 1 日（日）以降、大会当日まで受け付けます
※全体会の席割がありますので確定しない場合も見込みで結構です。必ずお送りください
③移動分科会は「移動分科会参加申込書」（別紙）での事前申込みが必要です
※申し込み締めは②と異なります。移動分科会の案内で確認してください
④参加費は同封の郵便振替用紙か銀行へ振り込んで下さい
⑤「参加のしおり」と「参加ワッペン」は参加見込み人数分を事前に送ります（10 月上旬予定）

（3） 参加申込先
日本高齢者大会中央実行委員会　TEL/FAX 03-3384-6654
〒164-0011 東京都中野区中央 5-48-5-504 E-mail: nihonkouren@nifty.com

（4） 参加費振込先
〇郵便振込　00190-9-134760 日本高齢期運動連絡会
〇銀行振込　三菱 UFJ 銀行 表参道支店 普通口座 1388607
　　日本高齢者大会中央実行委員会 畑中久明

3．その他
（1）宿泊について…各県での手配をお願いします
（2）物品販売やチラシ配布は、中央実行委員会で認めたものに限ります
（3）駐車場の利用について（名古屋国際会議場のバス駐車場は中央実行委員会事務局に所定の用紙で申し込みしてください）

以上

学習講座

1●能登震災から考える災害・防災・原発の課題
2●日本高齢者人権宣言が輝く明日の社会を展望しよう
3　高齢者の就労と労働問題、増える高齢労働者、課題を探る
4　国により進められる沖縄の軍事基地化と愛知県内の軍需産業の実態
5　高齢者の健康づくり　楽しんで心も体もリフレッシュ 笑い（ラフター）ヨガ・ちゅーぶ体操・フレイル予防
6●医療費患者自己負担を減らしてゼロへ　～ 沢内村からも学んで実現する

分科会

1　ジェンダーと女性の低年金。最低保障年金制度の実現を
2　地域に高齢期の運動を根付かせる活動
3　加齢性難聴と補聴器について知ろう 補聴器購入助成制度の実現をめざして
4＊高齢者と文化－暮しの中から短歌を、短歌を希望のエネルギーにー
5　高齢期を生き生きとさせる文化活動
6　安心して住み続けられるまちづくり
7　歯科講座
8●介護する人・受ける人がともに大切にされる介護保険へ－ 社会保障政策の転換とジェンダー平等の実現を
9　住まいは人権－ ”住みづらさ”の背景と居住福祉実現への課題を考える－
10●　交通・高齢者の移動手段の確保

●＝Zoom 配信あり

	テーマ	講師・助言者	会場	会議室番号	2人掛け収容数	3人掛け収容数	担当団体
第1学習講座 zoom	能登震災から考える災害・防災・原発の課題	前半　立石雅昭（新潟大学名誉教授） 後半　（名古屋市職労） （名水労）	レセプションホール		300 ＊108	450 ＊162	愛知
第2学習講座 zoom	日本高齢者人権宣言が輝く明日の社会を展望しよう	前半　井上英夫（金沢大学名誉教授） 後半　（弁護士を予定）	1号館　3階	131+132	80	120	中央：日本高連
第3学習講座	高齢者の就労と労働問題、増える高齢労働者、課題を探る	前半　河合克義（明治学院大学名誉教授・学長特別補佐　） 後半	1号館　3階	133+134	80	120	中央：健交労
第4学習講座	国により進められる沖縄の軍事基地化と愛知県内の軍需産業の実態	前半　伊波洋一（参議院議員）（予定） 後半　城下？？（愛知平和委員会が依頼）	1号館　4階	141+142	160	240	愛知：国公退職者会・平和委員会
第5学習講座	高齢者の健康づくり　楽しんで心も体もリフレッシュ 笑い（ラフター）ヨガ ちゅーぶ体操 フレイル予防	家根谷　政雄（ヤネヤコーチング） 原　晴美（日本体育協会公認スポーツリーダー） 理学療法士	2号館　3階	234	112	168	愛知：みなと医療生協
第6学習講座 zoom	医療費患者自己負担を減らしてゼロへ　～沢内村からも学んで実現する	横山壽一（佛教大学教授） 森弘典弁護士（いこいの森法律事務所） 沢内村からメッセージ	2号館　2階	224	112	168	中央：日本高連／神奈川高連
第1分科会	ジェンダーと女性の低年金。最低保障年金制度の実現を	千葉恵子弁護士（渋谷共同法律事務所）	展示室	211	96	144	中央：年金者
第2分科会	地域に高齢期の運動を根付かせる活動	鈴木　靜（愛媛大学教授）	展示室	212	72	108	中央：日本高連
第3分科会	加齢性難聴と補聴器について知ろう　補聴器購入助成制度の実現をめざして		2号館　2階	221	48	72	愛知：年金者
第4分科会	高齢者と文化ー暮しの中から短歌を、短歌を希望のエネルギーにー	津田道明（新日本歌人協会　代表理事）	2号館　2階	222	48	72	愛知：
第5分科会	高齢期を生き生きとさせる文化活動		2号館　2階	223	48	72	愛知：文団連
第6分科会	安心して住み続けられるまちづくり 支援する、支援される関係ではなくともに支えあうまちづくり 地域の中での役割とつながり、生きがいと居場所をつくる介護 子どもから高齢者までが参加した共生のまちづくり	労働者協同組合　又は　ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン BLG西尾の代表者　（愛知県西尾市田貫町市川原73番地） みえ医療福祉生協　（桑名でのとりくみ）	2号館　3階	231	48	72	中央：医福連
第7分科会	歯科講座		2号館　3階	232	48	72	中央：保団連
第8分科会 zoom	介護する人・受ける人がともに大切にされる介護保険へー社会保障政策の転換とジェンダー平等の実現を	日下部雅喜（大阪社会保障推進協議会介護保険対策 林　泰則（全日本民医連事務局次長）	2号館　3階	233	48	72	中央：民医連
第9分科会	住まいは人権ー”住みづらさ”の背景と居住福祉実現への課題を考えるー	岡本祥浩（中京大学総合政策学部教授、日本居住福祉学会会長　）	4号館　4階	431	48	72	愛知：公営住宅協議会
第10分科会 zoom	交通・高齢者の移動手段の確保	三浦　勤（元名古屋市交通局職員（東海自治体問題研究所会員））	4号館　4階	432	72	108	愛知：自治連退職者会
				合計	1,420	2,130	

２０２４年7月

団体、地域のみなさま

第37回日本高齢者大会と第33回ゆたかな高齢期を
めざす東京のつどいを成功させる東京実行委員会

第37回日本高齢者大会 in あいち
参加の取り組みのよびかけ

岸田政権の「骨太の方針２０２４」は大軍拡とともに、患者負担再引上、国保料(税)引上、介護利用時負担２割対象拡大、「要介護１・２」生活援助保険外しなど、物価に及ばぬ年金で生活切り詰めを強いられている高齢者を狙い撃ちする社会保障全面改悪の推進を打ち出しました。高齢者と青年を分断し、高齢者負担増を「少子化対策」の財源と称しますが、国保値上げは現役をも直撃、高齢者負担増は家計を圧迫、介護改悪は「介護離職」「ヤングケアラー」等現役、若者をも苦しめます。

高齢者大会は、こうした攻撃と闘う全国の仲間がつどい、交流し、決起する場として重要性を増しています。

私たちは、第 37 回日本高齢伊者大会 in あいちに、東京からのべ 500 人を越す大規模な参加をめざして取り組みを進めています。ぜひ貴団体、地域から積極的な参加の取り組みをご検討下さい。

＊　７月末以降に、大会の各講座、分科会などの内容がわかるリーフレットをＷｅｂページにアップするとともに、団体、地域に送付する予定です。

＊　高齢者大会のＷｅｂページに最新情報をのせていきます。資料もダウンロードできます。ご活用ください。
ＵＲＬは、https://x.gd/taikai

主な資料
- 参加要綱
- 参加申し込み用紙
- Web 接続･衛星会場設置のよびかけ
- 東京版ちらし

連絡先　東京高齢期運動連絡会
tokyo.koureiki@gmail.com　〒170-0005 豊島区南大塚 3-1-12 生方ビル４階
TEL 03-5956-8781　FAX 03-5956-8782

2024 年 7 月 13 日

第 37 回日本高齢者大会と第 33 回ゆたかな高齢期を
めざす東京のつどいを成功させる東京実行委員会

第 37 回日本高齢者大会 in あいち　参加要綱

第 37 回日本高齢者大会委 in あいち は、11 月 22 日(金)・23 日（土･祝）名古屋市で開催されます。各地域・団体で、積極的な目標をもって参加の取り組みを具体化されるよう呼びかけます。

1　第 37 回日本高齢者大会 in あいち　基本内容

（1）　主　催　第 37 回日本高齢者大会 in あいち中央実行委員会
　　第 37 回日本高齢者大会 in あいち現地実行委員会

（2）　日　時　11 月 22 日(金)学習講座・分科会・移動分科会　13:00～
　　夜の交流会　17:00～
　　11 月 23 日(土・祝)全体集会　10:15～12:30

（3）　会　場　両日とも　名古屋国際会議場　（22 日夜の交流会のみ愛知労働会館）

（4）　参加費　現地参加 1 日 2,500 円　2 日間 5,000 円
　　Web 参加　1 日 1,000 円　2 日間 2,000 円
※いずれも、この他に東京実行委員会分担金 1 日 500 円 2 日間 1,000 円をお支払いください

2　参加のしかた

＜A・東京実行委員会ツアーで参加＞　11/22(金)～11/23(土･祝)　1 泊 2 日
定員 120 人

11 月 22 日(金)東京駅 10:30 前後発　名古屋駅着　講座･分科会会場へ（各自公共交通機関）
～学習講座・分科会参加～　終了後　各自公共交通機関でホテルへ
11 月 23 日(土・祝)ホテルからバスにて全体会会場へ～全体会参加～終了後解散 各自帰京
費用　**48,000円**　大会参加費 2 日間 5,000 円+東京実委分担金 2 日間 1,000 円
ホテル代・新幹線往復・バス代･22 日昼食 1 回などを含むツアー料金

＜B・高齢者大会のみ参加＞　11/22(金)・11/23(土･祝)
★　独自にツアーを組まれる団体・地域　及び　交通・宿泊手段を各自手配して行く場合
11 月 22 日(金)12:00～ 現地受付・13:00～学習講座分科会参加　→　各自移動・宿泊
11 月 23 日(土・祝)9:30 開場　10:15 開会　全体会参加
費用　**6,000円**　大会参加費 2 日間 5,000 円+東京実委分担金 2 日間 1,000 円

3　部分参加：22 日、23 日いずれか 1 日だけ参加の場合は、費用は **3,000 円**

（大会参加費 1 日分 2,500 円+東京実委分担金 1 日分 500 円）になります。

4　Web 参加：詳しくは別紙 Web 接続・衛星会場づくりのよびかけをご覧ください。
費用は１日**1,500 円**　２日間**3,000 円**です。

5　申込期間：第１次集約　9月 30 日(月）第２次集約 11 月３日(日)
・ツアーは 11 月３日で最終締め切りになります。
・独自参加のみは 11 月 15 日(金)まで受け付けます。
・締め切り後は、当日現地で受付けます。必ず「東京」の表示の受付においでください。
★＜Ａ・東京実行委員会ツアー＞は、定員 120 人に達した場合はその時点で締め切ります。

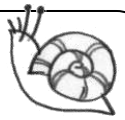
6　申込方法：申込を地域・団体でまとめ、申込用紙に記入してメールまたは、ＦＡＸで事務局に送ってください。資料を送りますので申込書の住所・氏名は、**必ず楷書で読みやすく**、はっきり書いて下さい。用紙が複数になる場合は合計金額は 1 枚ごとの金額を書いて下さい。（振り込みは一括で OK）
Web 参加申し込みは、メールからの登録のみです。詳しくは別紙をご覧ください。

★メールは tokyo.koureiki@gmail.com へ、申し込み用紙を添付して
★FAX は、03-5956-8782 へ　お願いします。

7　参加費の支払い：郵便振替にて下記の口座までご入金ください。
（口座記号・番号）００１６０－４－３５７４２１（口座名）東京高齢期運動連絡会
申込団体または申込者に、郵便振替用紙と送金についての説明を発送します。
＊　移動分科会、うたごえ広場などは、現地で別途費用が掛かることがあります。

8　移動分科会申込（申し込みは東京実行委員会へ）
移動分科会の申込については、リーフ、ホームページ等で別途お知らせします。
★　申込用紙は作成され次第、ネットからも取れるようにします。ＵＲＬは、https://x.gd/taikai
★　全国の参加希望が定員を超えた場合は抽選になります。

＜日本高齢者大会参加についての問い合わせは＞
Ｅメール　tokyo.koureiki@gmail.com
東京高齢者運動連絡会　〒170-0005 豊島区南大塚 3-1-12 生方ビル４Ｆ　TEL：03-5956-8781



2024年7月13日

第 37 回日本高齢者大会と第 33 回ゆたかな高齢期を
めざす東京のつどいを成功させる東京実行委員会

第 37 回日本高齢者大会委 in あいち への東京実行委員会ツアーの概要
★詳細については、後日申し込まれた参加者に資料を送ります。

＜A・東京実行委員会ツアー＞（往復新幹線・ホテル 1 泊　定員＝120 人）
11 月 22 日(金)から 11 月 23 日(土・祝)の 1 泊 2 日

11 月 22 日(金)
★申込者には事前に乗車券等をお渡ししますので、券面をよく確認のうえ、各自直接指定のぞみ号に乗車してください。
東京発 10;30 前後発のぞみ（品川、新横浜から乗車可）車中昼食弁当あり
12:00 前後名古屋着　各自公共交通機関で　名古屋国際会議場（講座･分科会会場）へ
13:00～日本高齢者大会　学習講座・分科会・移動分科会参加
終了後、各自公共交通機関でホテルへ
宿泊　岐阜長良川温泉 ホテルパーク
夕食（　東京からの参加者全員での交流会を兼ねて　）

11 月 23 日(土・祝)
ホテル朝食　ホテル9:00 前後発　名古屋国際会議場へ(この行程のみ､チャーターバス)
9:30 開場　10:15~全体会参加　終了後解散
名古屋発 17:30 前後ののぞみ号　東京着 19:00 前後
★帰りの新幹線チケットは、座席指定の時刻に乗車しない場合も、翌 24 日(日)まで 1 回だけ別ののぞみ号指定席に変更できます。

★　ツアー宿泊：11 月 22 日(金)
岐阜長良川温泉 ホテルパーク　岐阜市湊町 397-2　電話 058-265-5211

★　ツアー費用　1 人あたり 48,000 円
・新幹線往復料金　・チャーターバス代（2 日目ホテル→会場のみ）
・宿泊代（1 泊 2 食）・1 日目昼食弁当代
・大会参加費 5000 円・東京実委分担金 1000 円を含む

※当該期間は、修学旅行･秋の観光旅行のピークにあたり、バス借り上げが困難なため、バスが行程の一部しか確保できませんでしたので、名古屋到着以降は各自移動となります。公共交通機関は便利に走っています。（路線、時刻表など詳細は参加される方に後日お知らせします）

＜A・東京実行委員会ツアー＞は、下記の旅行社がセットします。
株式会社クロスインターナショナル
東京都新宿区新宿１－１８－８　2階　℡：03-4405-4492/Fax：03-4333-0847
担当者：高橋富雄/Mobile：080-5054-3655
東京都知事登録旅行業第２－６１２９　社団法人全国旅行業協会正会員

「東京実行委員会ツアーで参加」の場合についての追記 24.8.8実行委

１．初日（11/22金)の交通機関の利用について

① 名古屋駅→国際会議場(名古屋駅経由)岐阜駅のルート詳細と時刻表は、申込者に新幹線チケット等と共に、個別にお送りします。

② 岐阜駅→ホテルについては、ホテル側と、送迎バス配置について協議中。 バスの台数との関係で、宿泊者を3グループに予め分けて、多少の時間差を設けて乗車する方法と、その周知方法を検討します。

③「夜の交流会」ならびに「移動分科会」に参加する宿泊者は、各自、ホテルまで 来ていただきます。これに関する詳細と、その周知方法を検討します。

（仮に、夕食時およそP7～に間に合わない方々が居る場合に、夕食を別途用意する か、等については、ホテル側と協議中です）

④ ③との関連で、「夜の交流会」（国際会議場ではなく愛知労働会館が会場です）と「移動分科会」への参加者は、予め事務局で調べて把握します。

⑤ 初日、品川駅又は新横浜駅からの東車希望者も事前に事務局で調べて把握。

２．二日目(11/23土㊗)の交通機関の利用について

① ホテル→国際会議場は、チャーターバスで移動(ここだけ全員いっしょ)。

② 全体会終了後は、そのまま国際会議場で解散となります。

③ 復路の新幹線については、一回だけ、名古屋駅窓口で、当日又は翌24日(日）の、別の「のぞみ号」指定券に変更できます。各自で応用してください。

３．その他

① 1-②③との関連で、ホテルでの「夕食交流会」の持ち方を検討中です。（ホテル倒着時刻がずれるため、食時前の入浴時間確保が可能かどうか含め）

②「参加要綱」この「追記」の内容の更なる詳細が出て来た場合は、いずれにしても 申込みされた方々に、チケット・しおり送付時にお知らせして周知します。

２０２４年7月13日

団体、地域のみなさま

第37回日本高齢者大会と第33回ゆたかな高齢期を
めざす東京のつどいを成功させる東京実行委員会

第 37 回日本高齢者大会 in あいち
Web 接続・衛星会場づくりのよびかけ

岸田政権は、大軍拡を強行しながら、高齢者を狙い撃ちする社会保障全面改悪を推進し、高齢者と青年を分断して高齢者の生存権をも否定するような思想状況を作り出しています。高齢者大会は、こうした攻撃と闘う全国の仲間がつどい、交流し、決起する大切な集まりです。

東京実行委員会は、ぜひ団体、地域から現地名古屋への参加の取り組みを組織することを呼びかけています。しかし、現地への参加には大きな費用がかかります。そこで、現地名古屋への代表団派遣の取り組みと並行して、団体、地域にＷｅｂ衛星会場を設け、多くの仲間が参加できる体制をとることを呼びかけます。また、個人でのＷｅｂ参加も受け付けます。

１　全体会といくつかの講座、分科会を配信

11月22日講座、分科会の一部、および　11月23日全体会がオンライン配信されます。配信される講座、分科会は7月下旬以降に送付されるリーフレット及びホームページでお知らせします。

２　団体・地域でWeb会場をひらきましょう

Web会場の設置が決まったら、**【高齢者大会Web会場設置】**と明記して、以下の内容を東京高齢期運動連絡会にメールでお知らせください。データなどはご連絡いただいたアドレスに返信します。

受付はメールのみです。現地参加の受付用紙は使いません。申し込みを受けたら実行委員会から受付確認メールを送ります。

①団体または地域名
②会場名
③実施日,（22日の場合は講座、分科会名も）
④参加目標人数
⑤Web会場担当者名
⑥資料受け取り住所（個人宅の場合は　氏名まで）
⑦大会しおり等資料請求数

＊資料請求数は参加目標人数に余裕をもって申し込んでください。余った資料の返却は不要です。
＊参加費は、会場ごとに集金して東京実委にご送金ください。
＊参加費は**1日1,500円/人　2日間3,000円/人**（参加費1,000円/日　東京実委分担金500円/日）です。

3　個人でWeb参加も受け付けます

個人でWeb接続する場合は、**【高齢者大会個人Web接続】**と明記して、以下の内容を東京高齢期運動連絡会にメールでお知らせください。

受付はメールのみです。現地参加の受付用紙は使いません。申し込みを受けたら実行委員会から受付確認メールを送ります。

①氏名
②住所
③接続する日
④22日の場合は接続する講座、分科会名

＊登録いただいた住所に大会しおりなどの資料を郵送します。

＊参加費は**1日1,500円/人　2日間3,000円/人**（参加費1,000円/日　東京実委分担金500円/日）です。

4　Web衛星会場及び個別Web接続受付期間

第1次集約	9月30日（月）
第2次集約	11月3日（日）
最終締め切り	11月15日（金）

5　前日・当日は対応不能

11月21日（大会前日）～11月23日（大会終了）の間は問い合わせなどには対応できません。

6　連絡先　東京高齢期運動連絡会

申し込み用 Email アドレス　**tokyo.koureiki@gmail.com**

〒170-0005 豊島区南大塚 3-1-12 生方ビル 4 階

TEL 03-5956-8781　FAX 03-5956-8782

大会用ホームページ　**https://x.gd/taikai**

東京実行委員会　第 37 回日本高齢者大会 in あいち ＜B･高齢者大会のみ参加＞ 申込書

★地域・団体名（　　）★担当者名（　　）　★申込日（　　月　　日）

★担当者連絡先（電話　　）★（ＦＡＸ　　）★送金予定日（　　月　　日）

↓どちらかに○

★資料送付は（ 団体一括・個人別 ）→　団体宛資料郵送先（　　）← お書きください

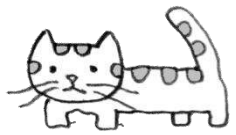
個人宅の場合は○○様方まで

★費用納入は（ 団体一括・個人別 ）2日間参加6,000円（　　人）　1日参加 3,000円（　　人）（合計　　円）

	フリガナ 氏　名	郵便番号	住　所	携帯電話 自宅電話	参加者の事故急病等のときの緊急連絡先	参加日に○ 11/2	 11/23	費用
1								
2								
3								
4								
5								

FAX送信時には裏表を間違えないように!!

① 第１次集約 ９月 30 日(月) 第２次集約 11 月３日(日)　＜Ｂ・高齢者大会のみ参加＞は最終 11 月 15 日(金)まで受け付けます。
② 締め切り後は、当日現地で受付けます。現地で必ず「東京」の表示の受付においでください。
③ 参加費用は、郵便振替で納入して下さい。
④ 振込先　郵便振替（口座記号・番号）００１６０－４－３５７４２１（口座名）東京高齢期運動連絡会
⑤ 資料を郵送しますので、必ずひとりひとりの住所を、わかりやすい字で、はっきりお書き下さい。
※ メール添付は、**tokyo.koureiki@gmail.com** へ、ＦＡＸは、**03-5956-8782** へ（問い合わせ電話は 03-5956-8781）



東京実行委員会　第 37 回日本高齢者大会 in あいち ＜A･東京実委ツアー参加＞ 申込書

★地域・団体名（　　）★担当者名（　　）　★申込日（　　月　　日）

★担当者連絡先（電話　　）★（ＦＡＸ　　）★送金予定日（　　月　　日）

↓どちらかに○

★資料送付は（ 団体一括 ・ 個人別 ）→ 団体宛資料郵送先（　　）← お書きください

個人宅の場合は○○様方まで

★費用納入は（ 団体一括 ・ 個人別 ）合計金額 48,000 円/人×（人数　　人）＝（合計　　円）

	フリガナ 氏 名	性別	郵便番号	住 所	携帯電話 自宅電話	参加者の事故急病等のときの緊急連絡先	費用
1							
2							
3							
4							
5							

ＦＡＸ送信時には裏表を間違えないように!!

① 第 1 次集約 9 月 30 日(月) 第 2 次集約 11 月 3 日(日)　東京実行委員会ツアーは 11 月 3 日で受付を締めきります。
② ツアー定員 120 名に達した場合は、その時点で募集を締め切ります。
③ 参加費用は、郵便振替で納入して下さい。
④ 振込先　郵便振替（口座記号・番号）００１６０－４－３５７４２１（口座名）東京高齢期運動連絡会
⑤ 資料を郵送しますので、必ずひとりひとりの住所を、わかりやすい字で、はっきりお書き下さい。
※ メール添付は、**tokyo.koureiki@gmail.com** へ、ＦＡＸは、**03-5956-8782** へ（問い合わせ電話は 03-5956-8781）

2025 年東京のつどい「第33回ゆたかな高齢期をめざす東京のつどい」企画案

2024 年 8 月 8 日
東京高齢期運動連絡会副会長　吉岡尚志

１．　はじめに・・・何をめざすか

いま日本は大きな曲がり角、転機にぶつかっています。政治のありかた、経済のありかた、そして未来社会の姿。高齢者と現役、若者、子供がどう安心して、希望をもってこの国で、地球で暮らすのか。高齢者として地に足をつけてどう向き合うのか。そのためにどう考え、何をすべきかが高齢者にも問われています。

希望を持って生きられる社会のためには、現在の社会の問題の核心に深く根差す分析と展望を切り開く方向性の提起が求められます。そして何より高齢者を元気づける問題提起が求められます。

２．　記念講演

高齢者が社会に目を向け、前向きに生きることを励ますような講演を期待する。
憲法、人権を基礎に高齢者の視野を広げるような広い視点の講師を招く。

① 目的　　超高齢社会の中で最も大きな問題の一つである介護問題。政府は「介護の社会化」を掲げ、介護保険を導入したが、国民・高齢者の人権を踏みにじり、介護保険を改悪し続けている。このままでは強行されかねない介護保険の改悪を高齢者が怒りをもって、自分事として反対しなければ介護保険も社会保障も崩壊しかねない。声を出せ、高齢者！

② ポイント

・高齢者の介護を中心とした現状、問題そしてなぜ高齢者をこのような状況に置くのか
・高齢者が孤立させられている、どう対応していくのか、乗り越えていくのか。「おひとりさま」の視点と行動を学ぶ。
・高齢期の問題である介護。それを支えるための介護保険。それが改悪の危機、存続の危機にさらされている。その内容とは。
・改悪を食い止め、改善をすすめる視点、高齢者の運動に何が求められるのか。
・もっと怒ろう、行動を起こそう。学び、声を出そう。

演者：　上野千鶴子氏（東京大学名誉教授、NPO　WAN ウィメンズアクションネットワーク理事長）

３．　活動報告

昨年に続き、各地の先進的なとりくみ、苦労しながら努力している活動など高齢者のとりくみを励ます活動を報告してもらう。

① 地域のとりくみ・・・杉並区のとりくみの現状と方向。区政を住民参加で進める苦悩と可能性。
他の地域は何を学べるか？

内田聖子さん（NPO「アジア太平洋資料センター」共同代表）　　２０分
② 生活保護の裁判・・・何が問題で、裁判は何をもたらすか　　２０分

４．　分科会について
〇分科会は全体会とは別の日に設定する。
〇1 日に３つの会場で行う。
・高齢者のくらしの実態を知る・・藤田孝典氏、生健会からの報告、北区の生活相談が明らかにする厳しい現状。高齢者の貧困、格差と孤立。課題と対策の重点は？

・一人ぼっちにしないまちづくり・・高齢期運動、民医連、医療福祉生協から報告を得て、現状、課題を深める。

・社会保障をめぐる運動
マイナ保険強制反対・保険証を残せの運動の現状と今後の課題
12 月２日以降の状況。患者、国民の受療権はどうなっているのか？制度はどうなる？
医療機関の窓口は？医療機関は？
政府、地方自治体はどうなっているのか、
国民皆保険制度と社会保障の現状と課題を学び、今後の方向について意見交換する。

以上

老人医療費無料化発祥の地記念碑建立40周年記念

いのちの灯の集い

と　き：2024年10月13日（日）
ところ：岩手県西和賀町

岩手県沢内村（現西和賀町）が当時全国初となる老人医療費無料化を始めてから60年あまりが経過しました。沢内村を「老人医療無料診療発祥の地」として顕彰するため、全国の関係者有志の運動により、1983年に記念碑「いのちの灯」が建立されました。記念碑建立からも既に40年が経過し、この間の高齢化の進展や介護保険制度、後期高齢者医療制度の創設、町村合併など、社会経済情勢の大きな変化とともに、当時の精神文化や制度の理念などが風化しつつあります。

しかし、価値観の多様化、複雑化がもたらす格差や差別、貧困、紛争などの問題が世界中を覆い尽くしている今だからこそ、深澤晟雄（まさお）村長が唱えた「生命尊重」の理念、「いのちあっての物種」の精神があらためて見直されるべきと考えます。

記念碑建立40周年に当たり、全国の保健・医療・福祉の関係者有志が一堂に会し、生命尊重理念の今日的意義を確認し合う機会とするため「いのちの灯の集い」を開催するものです。

1．期　日
2024年10月13日（日）～14日（月）　祝日、スポーツの日

2．会　場
岩手県和賀郡西和賀町内（ＪＲ北上線　ほっとゆだ駅下車）

3．内　容
○碑前集会　於：深澤晟雄資料館前（記念撮影・資料館見学含む）
○ミニシンポ　於：ほっとゆだ駅前　湯夢（ゆめ）プラザ2階研修室
　ミニトーク　・元沢内病院長　増田　進　氏
　　・石川県川北町関係者（予定）
○夕食交流会　於：湯川温泉　新清館（和賀郡西和賀町湯川52-121-2）
　　※宿泊先も同じ

4．参加費
１人15,000円若しくは１人20,000円（詳細は別紙参照のこと）
※参加費に含まれる経費は、13日の昼食代、夕食交流会費、宿泊代のみです。
　記念撮影を行った写真は希望者に有償（1,000円／枚）頒布します。

5．参加申込
2024年9月5日（木）まで下記団体あてに申し込んでください。

6．主催／共催
NPO法人輝けいのちネットワーク／日本高齢期運動連絡会
問合せ：ＮＰＯ法人代表・高橋典成（のりしげ）（TEL：090-7661-4790）

別紙

□日程

▼10月13日（日）

●集合　午前９時30分　ＪＲ北上駅西口

●移動　北上発９時55分　ＪＲ北上線横手行乗車→10時39分　ほっとゆだ下車

●昼食　午前11時～　於：湯夢（ゆめ）プラザ内レストラン　～（バス移動）～

○碑前集会　午後12時15分～　於：深澤晟雄資料館前（記念撮影・資料館見学含）～（バス移動）～

○ミニシンポ　午後３時～　於：湯夢プラザ2階研修室

ミニトーク　・元沢内病院長　増田　進　氏

・石川県川北町関係者（予定）　～（バス移動）～

○夕食交流会　午後５時～　於：湯川温泉　新清館（宿舎）

▼10月14日（月）

●出発　午前10時宿舎発～湯夢プラザで買い物等

●移動　ほっとゆだ発11時22分　ＪＲ北上線北上行乗車→12時05分　北上下車

北上発12時30分　東北新幹線やまびこ56号乗車→午後3時24分　東京着

□参加費について

参加費の15,000円と20,000円の違いは、宿泊するお部屋のタイプによるものです。

15,000円のお部屋は、和室で4～6名様でのご利用になります。

20,000円のお部屋は、洋室ベッドルームで2名様でのご利用になります。

ただし、洋室ベッドルームは３部屋しか用意できませんので、ご希望に沿えない場合があります。

出発は　１０月１３日（日）　東京駅７時 16 分

大宮駅　７時 41 分発　はやぶさ 101 号

「ほっとゆだ」着　　10 時 39 分

帰りは　１０月１４日（月・祝日）

「ほっとゆだ」発

11 時 22 分　北上経由　やまびこ 56 号　東京着　15 時 24 分

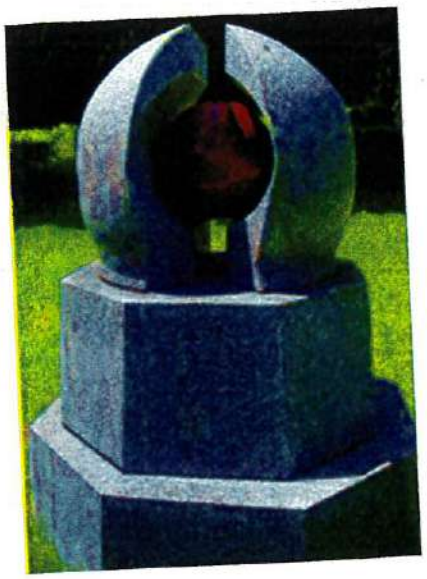
14 時 52 分　北上経由　はやぶさ 110 号　東京着　18 時 56 分

17 時 55 分　北上経由　やまびこ 66 号　東京着　20 時

参加申し込み、お問い合わせは

吉岡まで（日本高齢期運動連絡会）　080-2394－8748

Yoshioka3563@gmail.com



あわてるな!! 保険証はすぐになくならない!!

【速報】東京高齢期運動連絡会
2024年8月3日(土)版
tokyo.koureiki@gmail.com
豊島区南大塚3−1−12
生方ビル4階
03−5956−8781

12/2からも今の保険証は使えます

「あわててマイナ保険証を作らなくても大丈夫」という周知・広報を急いで広げましょう。

国はマイナ保険証の普及に躍起になっています。後期高齢者保険証に、マイナ保険証を使わないといけないとの誤解を与えるような説明が同封され、誤解と不安が広がっています。

※現在の保険証は有効期限まで普通に使えます。

12月2日以降も、現在手元にある健康保険証は、最長1年間またはその有効期限が切れるまで、後期高齢者は2025年7月末まで、今まで通りに使えます。手元にある保険証は絶対に廃棄しないでください。

※マイナ保険証のない人には、申請なしで資格書が送られます。

マイナンバーカードを持たない人、マイナ保険証の登録をしない人には、保険証の有効期限が切れる前に、**資格確認書**が申請なしで自動的に交付されます。

※資格書は、いままでの保険証と同じように使えます。

資格確認書は、いままでの健康保険証と同じように使うことができます。窓口でいったん10割払わねばならないというようなことはありません。

※だから、あわてて「マイナ保険証」を作らなくても大丈夫

したがって、あわててマイナンバーカードを作ったり、マイナ保険証の登録をしたりする必要は、まったくありません。

窓口負担は20円安くなりません。

厚生労働省のプリントには、「医療費を20円節約でき」と書いてあります。しかし第1に医療費が診察ごとに20円安くなっても自己負担は1割の人で2円、2割の人で4円、3割で6円です。第2にマイナ保険証を使わせた医療機関に上積みされる報酬を最終的に負担するのは私たちです。

10月末頃からはマイナ保険証の利用登録の解除も可能に

10月末から各保険者に申請すれば、マイナ保険証の利用登録の解除が可能になります。一度利用登録してしまっても、やっぱり「資格確認書」を使いたいという人は、登録解除をすれば「資格確認書」の交付対象になります。申請方法などの詳細は今後明らかになります。

保険証廃止反対の闘いとともに「慌てなくても大丈夫!」の周知・広報を各団体で急ぎ広げましょう

保団連などは、情報周知の取組みを強めています。各団体・地域でも、保険証廃止反対の運動を一層強めるとともに機関誌やチラシなどを活用して「あわててマイナ保険証を作らなくても大丈夫」という周知・広報を急いで広げましょう。

引用・コピー・増し刷り自由、どうぞご活用ください。